

# MS&AD Report

通期ご報告 2012.4.1 ▶ 2013.3.31

## CONTENTS

- 1 2012年度通期 ビジネスレビュー
- 3 **TOP MESSAGE**
- 5 業績ダイジェスト(2012年度通期)
- 7 中期経営計画「MS&ADニューフロンティア2013」
- 8 トピックス
- 9 会社概要／役員／株式の状況
- 10 株主メモ



# 2012年度通期 ビジネスレビュー

♣ MS&ADホールディングス ♥ 生命保険 ◆ 損害保険

## ◆ 三井住友海上

### インドの大手生命保険会社と資本提携

三井住友海上は、6月にインドの生命保険会社「マックス生命」の発行済株式26%を取得しました。人口増加や経済発展に伴い拡大が期待されるインド生保市場に参入することにより、アジアでの事業基盤をより強固なものにしました。



## ◆ あいおいニッセイ同和損保

### 業界初!「ベテランドライバーサポート」サービス提供開始

あいおいニッセイ同和損保は、近年の高齢化の進行とともにシニアの方の交通事故が増加していることから、事故を未然に防止するサービスの強化が必要と考え、安全運転に関するご相談に専門スタッフが電話でアドバイスする「ベテランドライバーサポート」の提供を開始しました。



## ♥ 三井住友海上あいおい生命

### 終身介護保障特約を発売

三井住友海上あいおい生命は、12月より「終身介護保障特約（払込期間中無解約返戻金型）」を発売しました。本特約は、お支払い事由を公的介護保険制度に連動させ、さらに保険料払込期間中の解約返戻金をなくすことで「低廉な保険料」を追求したものであり、終身保険や医療保険に付加いただけます。



## ♥ 三井住友海上プライマリー生命

外貨建定額終身保険の累計販売件数が6万件を突破

2012年2月に販売を開始した外貨建定額終身保険の累計販売件数が、2013年3月末までに6万件を突破しました。「外貨建て運用」や為替の変動のタイミングを捉えて目標額である円建て資産を確保できる「円建て資産自動確保」機能等がお客さまから好評いただき、大きなヒット商品となりました。



2012年

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

2013年

1月

2月

3月

## ◆ 三井住友海上

### スマートフォンご利用者向け新サービス「スマ保」の提供開始

三井住友海上は、8月からスマートフォン向け新サービス「スマ保」の提供を開始し、2013年3月末までに25万件的ダウンロード数を突破しました。「スマ保」はどなたでも利用できる同社独自のスマートフォンアプリです。自動車保険の「契約管理」や「緊急時ナビゲート」、「安全運転診断」等のお客さまの安全運転や事故防止に役立つサービスを提供しています。



## ◆ 三井ダイレクト損保

東京湾岸警察署長、東京湾岸交通安全協会会長より「感謝状」  
三井ダイレクト損保では、事故のないクルマ社会を目指す「MUJICOLOGY! (ムジコロジー) プロジェクト」の一環として、「ゆずりあい=ドライブマナーの向上」をアピールする活動を進めています。2012年度は東京湾岸警察署主催の交通安全イベント等に積極的に参画したことが認められ、春秋連続して「感謝状」をいただきました。



## ♣ MS&ADホールディングス

三井住友海上と  
あいおいニッセイ同和損保の  
機能別再編に関する合意を発表



▶ P4で詳しくご紹介

## ◆ あいおいニッセイ同和損保

### 「メンター・アワード2013」優秀賞を受賞

あいおいニッセイ同和損保は、「ワーキングウーマン・パワーアップ会議」主催の第5回「メンター・アワード2013」で「優秀賞」を受賞しました。女性管理職への更なる成長機会の提供および経営に対する意識の向上を目的に、役員をメンターとした支援活動と社内ネットワーク作りへの取り組みが高く評価され、損害保険業界で初の受賞となりました。



## ■ 当社グループについて

立ちどまらない保険。

MS&AD

INSURANCE GROUP

「立ちどまらない保険。」に込めた想い

MS&ADインシュアランスグループは、保険業界における、もっとも果敢なチャレンジャーであり続けたいという決意を、「立ちどまらない保険。」というグループスローガンに込めています。

(主な保険事業会社)

MS&AD

MS&ADホールディングス

MS&AD 三井住友海上

MS&AD あいおいニッセイ同和損保

三井ダイレクト 三井ダイレクト損保の

MS&AD 三井住友海上あいおい生命

MS&AD 三井住友海上プライマリー生命

## TOP MESSAGE

## 持続的成長と企業価値向上を 世界トップ水準の保険・金融グ ループを創造します。

株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに2012年度（2012年4月1日から2013年3月31日まで）のご報告をお届けします。

昨年度のわが国経済は、東日本大震災からの復興需要などにより緩やかな回復基調にあったものの、期半ばからは、欧州の債務問題による世界経済の減速等の影響を受け、低調に推移しました。しかしながら、年末からは一段の金融緩和による円高の是正等を背景に株価も上昇するなど、景気回復の期待が高まっております。このような中、当社グループは2010年度にスタートした中期経営計画「MS&ADニューフロンティア2013」に掲げる基本戦略に基づいて、国内損害保険事業、国内生命保険事業、海外事業、金融サービス事業、リスク関連サービス事業をそれぞれ積極的に展開し、商品・サービスの品質向上および収益力・成長力の強化に努めてまいりました。また、2013年度中に全面稼働予定の統合新システムの一部稼働を開始する等、業務の効率化とコスト削減に取組み、グループシナジーの発揮を追求いたしました。

この結果、2012年度の連結業績につきましては、国内損保会社の主要2社ともに保険料収入を順調に拡大し、正味収入保険料が2兆6,394億円と前年比3.1%の増収となりました。また成長分野である生保、海外事業とも順調に拡大いたしました。

当期経常利益は、主力の自動車保険の収支が着実に回復基調にあることや前期において大きな負担となったタイ洪水の影響が大幅に減少したこと、また株式相場の回復等により資産運用面の損益が改善したことにより、前期比2,465億円増益の1,503億円となりました。当期純利益は、前期比2,530億円増加し、836億円となり、

## 追いつける ループを創造します。

2010年度のグループ発足以来の最高益を達成しました。今年1月には、経営統合の第二段階として、グループの中核損保である三井住友海上およびあいおいニッセイ同和損保を中心としたグループの機能別再編を発表いたしました。これにより、多様化するお客さまニーズへ対応しつつ、グループ傘下各社の強みを最大限に引き出し、スピード感のある「成長」と「効率化」を実現し、企業価値を向上させてまいります。

なお、2012年度の期末配当金につきましては、前年度

と同様の1株あたり27円とさせていただきます。2013年度は中間・期末配当でそれぞれ1円、年間2円の増配とし、1株あたりの配当を年間56円へ引き上げる予定です。また、株主還元の一環として、2013年5月21日から2013年9月20日を取得期間として、50億円および250万株を上限に自己株式の取得を決定しております。当社グループは、今年度中期経営計画の最終年度を迎えます。この計画を達成するため、各事業において引き続きグループの総合力を結集してまいります。株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2013年 6月



取締役社長  
江頭敏明

### 機能別再編について

「目指す企業グループ像を実現するための体制」に向けた機能別再編を実施します。

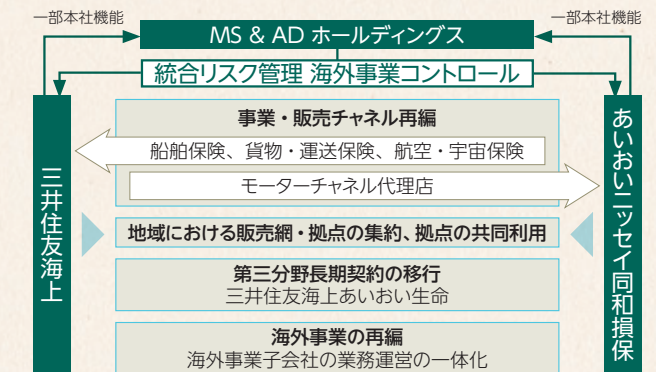
■中核損保2社の事業コンセプトを明確化するとともにシナジーの発揮を図ります。

- ・三井住友海上…総合力を発揮し他社優位性のある商品・サービスを提供し、国内外を問わずグローバルな保険・金融サービス事業を展開します。
- ・あいおいニッセイ同和損保…独自の強みであるトヨタグループ、日本生命グループというパートナーとの関係を強化し特長を活かすとともに、他社優位性のある商品・サービスを提供し、地域密着営業を展開します。なお、海外においては引き続きトヨタディーラーを通じたリテール事業を中心に展開します。

■グループ全体でのスピード感を持った「成長」と「効率化」の実現を図ります。

■持株会社を中心とした、強固なグループガバナンス体制の構築を図ります。

### 【機能別再編イメージ】



詳しくは当社WEBサイトをご覧ください。  
[http://www.ms-ad-hd.com/news\\_topics/pdf/130131\\_goui\\_hd.pdf](http://www.ms-ad-hd.com/news_topics/pdf/130131_goui_hd.pdf)

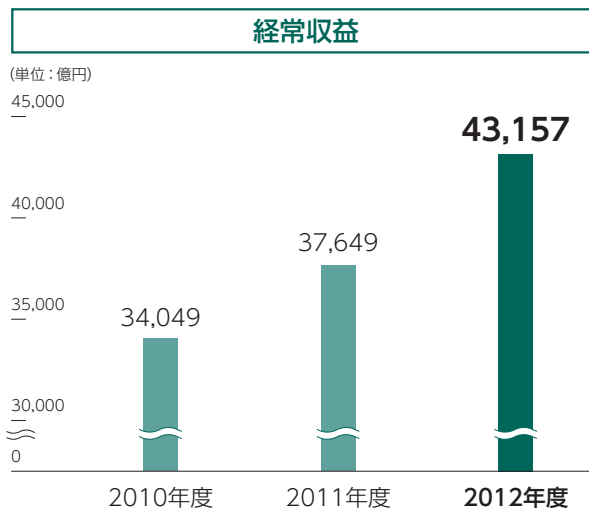
## 業績ダイジェスト (2012年度通期)

## MS &amp; ADホールディングスの状況 (連結)

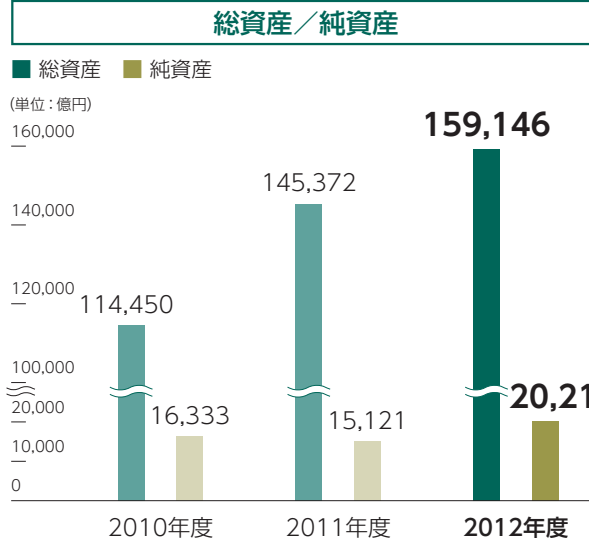
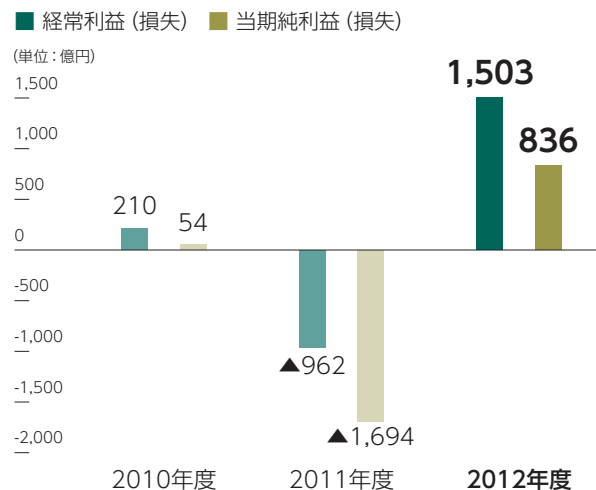
当期の連結業績につきましては、保険引受収益が3兆5,103億円、資産運用収益が7,977億円、その他経常収益が77億円となり、これらを合計した経常収益は4兆3,157億円と前期に比べて14.6%の増加となりました。

経常利益は、タイで発生した洪水など、国内外の自然災害による多額の発生保険金を計上した前期に比べて、2,465億円増加し1,503億円となりました。

この結果、当期純利益は、前期に比べて2,530億円増加し、836億円となりました。



## 経常利益 (損失) / 当期純利益 (損失)



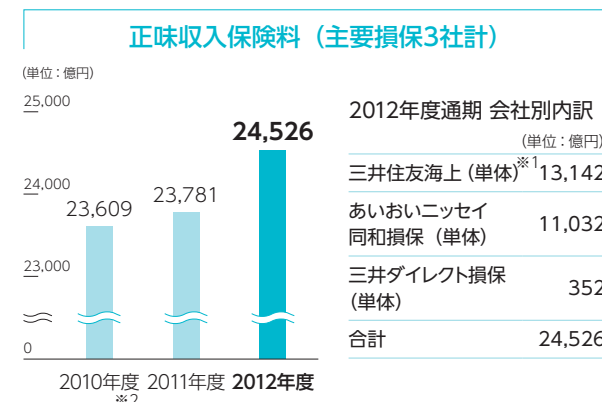
## 事業毎の状況

国内損害保険事業において、正味収入保険料は、自動車保険・自賠責保険などで増収したことを主因に主要損保3社計で2兆4,526億円と前期比+745億円となりました。

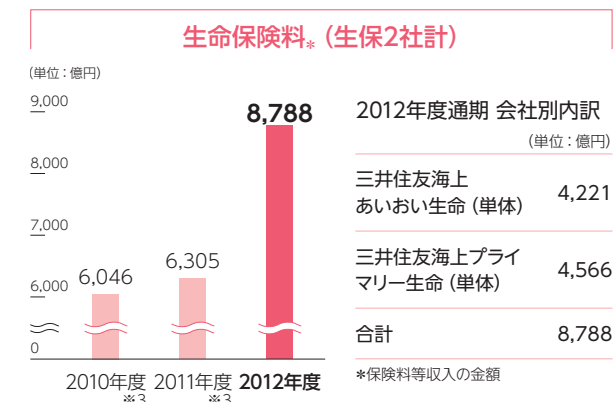
国内生命保険事業では、生命保険料がグループ傘下の2社ともに増収し、2社計で前期比+2,483億円と39.4%の大幅増収となりました。

海外事業 (海外保険子会社) では、正味収入保険料が1,861億円となり、前期比+54億円の増収となりました。

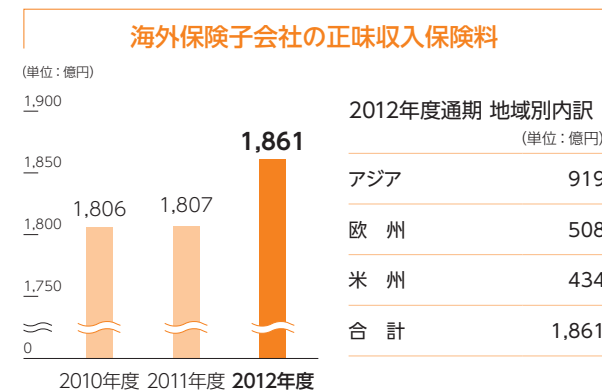
## 国内損害保険事業



## 国内生命保険事業



## 海外事業



## 金融サービス事業・リスク関連事業

金融サービス事業につきましては、三井住友海上やあいおいニッセイ同和損保において、確定拠出年金対応商品を積極的に販売するとともに、住宅金融支援機構提携ローン「フラット35」の取扱いの拡大に努めました。

リスク関連サービス事業につきましては、企業を取り巻く経営リスクの解決を支援するコンサルティングの実施やセミナーの開催など、各種サービスを引き続き提供いたしました。

## 中期経営計画「MS&ADニューフロンティア2013」(2010年度～2013年度)

### 中期経営計画の進捗について

収益拡大のための各種施策を強化し利益目標に向けて取り組んだ結果、2012年度のグループコア利益は、874億円と見込み額を超過達成しました。

中期経営計画「MS&ADニューフロンティア2013」は今年度最終年度を迎えます。

2013年度の数値目標については、足元の株式市場の回復に伴い純資産の含みが急速に増加していることから、グループROEは5%台半ばとなる見込みですが、連結正味収入保険料、グループコア利益については、共に目標を達成する見込みです。

	2010年度実績	2011年度実績	2012年度実績	2013年度見込	2013年度 経営数値目標
正味収入保険料	25,414	25,588	26,394	27,700	27,000
生命保険 保有契約 年換算保険料*1	2,790	2,960	3,197	3,330	3,300
グループコア利益*2	145	△ 875	874	1,100	1,100
国内損保事業	65	197	619	680	600
国内生保事業	41	43	98	160	150
海外事業	18	△ 1,123	135	240	300
金融サービス事業/リスク関連事業	19	7	20	30	50
グループROE*3	0.8%	△ 5.6%	5.0%	5.6%	7.0%

\*1 三井住友海上あいおい生命の数値になります。(三井住友海上プライマリー生命は含みません。)なお、2010年度は三井住友海上きらめき生命とあいおい生命の合算値を表示しています。

\*2 グループコア利益: MS & ADインシュアランス グループ独自の利益指標で以下の方法により算出します。

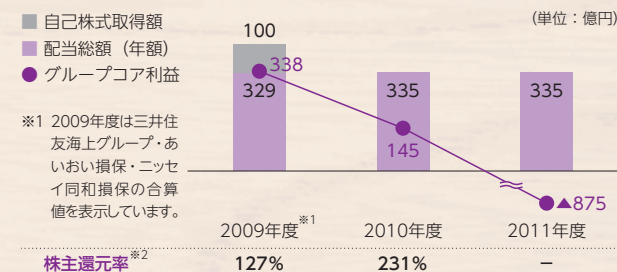
$$\text{グループコア利益} = \text{連結当期利益} - \text{株式キャピタル損益 (売却損益等)} - \text{クレジットデリバティブ 評価損益} - \text{その他特殊要因} + \text{非連結グループ会社 持分利益}$$

\*3 「グループROE」: グループコア利益÷期初・期末平均連結純資産 (除く少数株主持分)

### 株主還元方針について

グループの中期経営計画「MS&ADニューフロンティア2013」では、統合効果の発揮と成長戦略の推進による収益の拡大を株主還元の増大へとつなげることを謳っています。具体的な株主還元としては、配当と自己株式の取得を通じ、中期的に「グループコア利益」の50%を目処として利益還元を行ってまいります。また、成長領域への積極的な事業投資を継続することにより持続的な成長サイクルを実現し、利益の拡大を通じて株主還元の増大を目指します。

### 株主還元額 年度別実績



\*2 株主還元率: 下記のような方法で算出しています。<[2011年度]の例>

$$\frac{\text{2011年度に関する配当 (2011年12月、2012年6月)} + \text{2012年度に行った自己株式の買付け}}{\text{2011年度の「グループコア利益」}}$$

## トピックス

### [企業価値、品質の向上に対する取り組み]

**タイ支店・現地法人が「優秀損保会社 タイ国首相賞」**  
三井住友海上 第1位受賞! (外国保険会社初)  
あいおいバンコク社 特別賞を受賞!

三井住友海上タイ支店は、2012年9月に発表されたタイ保険委員会事務局による「優秀損保会社 タイ国首相賞 [Prime Minister's Insurance Award 2011: Non Life Insurer with Outstanding Management]」において、外国保険会社として初めて第1位を受賞し、タイ国首相より表彰を受けました。同賞は、優れた会社経営を行う損害保険会社に与えられるもので、3年連続8回目の入賞となります。あいおいニッセイ同和損保のタイ現地法人も、特別賞を受賞しています。タイ洪水からの復興のためにグループ一丸となって取り組み、同国保険業界に大きく貢献したことも高く評価されました。



**「第3回 MS&ADグループコンタクトセンター電話対応コンクール」開催**

2013年2月、グループ各社のコンタクトセンターにおける「お客さま対応品質の向上」と「相互研鑽」を目的とした「第3回 MS&ADグループコンタクトセンター 電話対応コンクール」を開催しました。本選当日はグループ各社のコンタクトセンターに所属する約3,000名のコミュニケーターのうち、予選を勝ち抜いた14名がロールプレイング形式の課題に挑戦しました。当社グループでは、コンクールを通じてそれぞれの業務の枠を超え、互いに切磋琢磨しあう風土を醸成しています。



### [東日本大震災への継続的な取り組み]

当社グループのインターリスク総研および三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保は、ハンドブック「こどもを地震・津波から守る知恵 ～東日本大震災から学ぶ～」を発行しました。これは、東日本大震災から2年が経過し震災が過去のものとならないよう、「震災を風化させない取組み」の一環として、制作したものです。本冊子は宮城県内の保育・児童施設で開催したワークショップと、小学生以下のこどもを持つ保護者の方々を対象に実施したアンケート調査の結果をもとに、家庭および施設における地震・津波対策についてわかりやすくまとめています。今後も南海トラフ地震などの大規模地震等への備えは欠くことができません。当社グループでは、これからも皆さまの生活の安定に寄与する情報発信やサービスの提供に努めてまいります。



## 会社概要／役員／株式の状況

### 会社概要 (2013年3月31日現在)

社名	MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社
本店所在地	東京都中央区八重洲一丁目3番7号
設立	平成20年(2008年)4月1日
資本金	1,000億円
従業員数	36,643名(連結)

### 役員 (2013年6月26日現在)

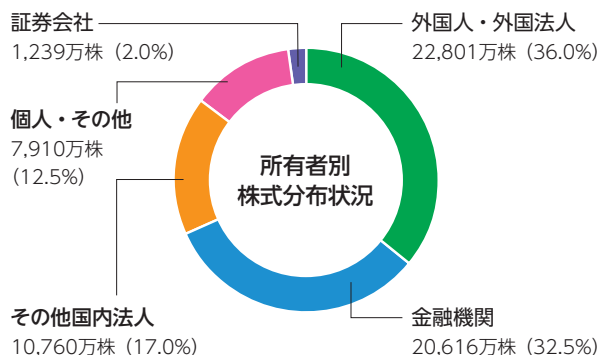
取締役社長(代表取締役)	社長執行役員	江頭 敏明
取締役(代表取締役)	執行役員	柄澤 康喜
取締役(代表取締役)	執行役員	鈴木 久仁
取締役(代表取締役)	執行役員	米田 正典
取締役	専務執行役員	藤本 進
取締役	専務執行役員	堀本 修平
	専務執行役員	田中 敏彦
	執行役員	藤井 史朗
取締役	執行役員	土屋 光弘
取締役	執行役員	飯島 一郎
	執行役員	西方 正明
	執行役員	金杉 恭三
取締役	執行役員	柳川 南平
	執行役員	上野 晋
	執行役員	三浦 浩
社外取締役		渡邊 顯
社外取締役		角田 大憲
社外取締役		小川 是
社外取締役		松永 真理
監査役(常勤)		池田 克朗
監査役(常勤)		吉野 二良
社外監査役		安田 莊助
社外監査役		野村 晋右
社外監査役		手塚 裕之

### 株式の状況 (2013年3月31日現在)

■発行済株式の総数	633,291,754株
■株主数	73,557名
■大株主状況(上位10名)	

株主名	保有株式数(万株)	持株比率(%)
トヨタ自動車株式会社	5,261	8.3
日本生命保険相互会社	3,632	5.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,197	5.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,919	4.6
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	2,491	3.9
THE CHASE MANHATTAN BANK, N.A. LONDON SECS LENDING OMNIBUS ACCOUNT	1,317	2.1
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT - TREATY CLIENTS	1,200	1.9
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505225	876	1.4
MELLON BANK, N.A. AS AGENT FOR ITS CLIENT MELLON OMNIBUS US PENSION	762	1.2
NATSCUMCO	740	1.2

※当社は自己株式1,140万株を保有していますが、上記大株主から除いています。



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎事業年度終了後3か月以内に開催します。
配当の基準日	期末配当金：毎年3月31日 中間配当金：毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵送物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社および 三菱UFJ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告の方法により、下記ホームページに掲載します。 ただし、事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。 <a href="http://www.ms-ad-hd.com/company/notification/index.html">http://www.ms-ad-hd.com/company/notification/index.html</a>

### お問い合わせ先

三井住友信託銀行株式会社  
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
☎ 0120-782-031

三菱UFJ信託銀行株式会社  
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
☎ 0120-232-711

### 株式に関するお手続きについて

- お受け取りがお済みでない配当金を受け取るお手続き  
三井住友信託銀行までお申し出ください。  
なお、配当金は、支払開始の日から満3年を経過しますと、当社定款の規定によりお支払いできなくなりますので、お早めにお受け取りください。
- その他のお手続き
  - 証券会社に口座をお持ちの場合  
お取り引きの証券会社へお申し出ください。
  - 証券会社に口座をお持ちでない場合  
特別口座での管理となっておりますので、三井住友信託銀行または三菱UFJ信託銀行へお申し出ください。

#### 【お手続きの例】

- ご住所の変更
- 今後の配当金受取口座のご指定  
配当金領収証でのお受け取りのほか、口座等への振込のご指定もできます。
- 単元未満株式の買取・買増のご請求  
証券取引所で売買できない、100株未満の株式(単元未満株式)につきましては、買取・買増のご請求により整理することができます。

#### ●例えば…当社株式を150株ご所有の場合

買取請求 当社に株式の買取をご請求 いただく方法	買増請求 当社から株式を買い増して 100株単位としていただく方法
--------------------------------	---

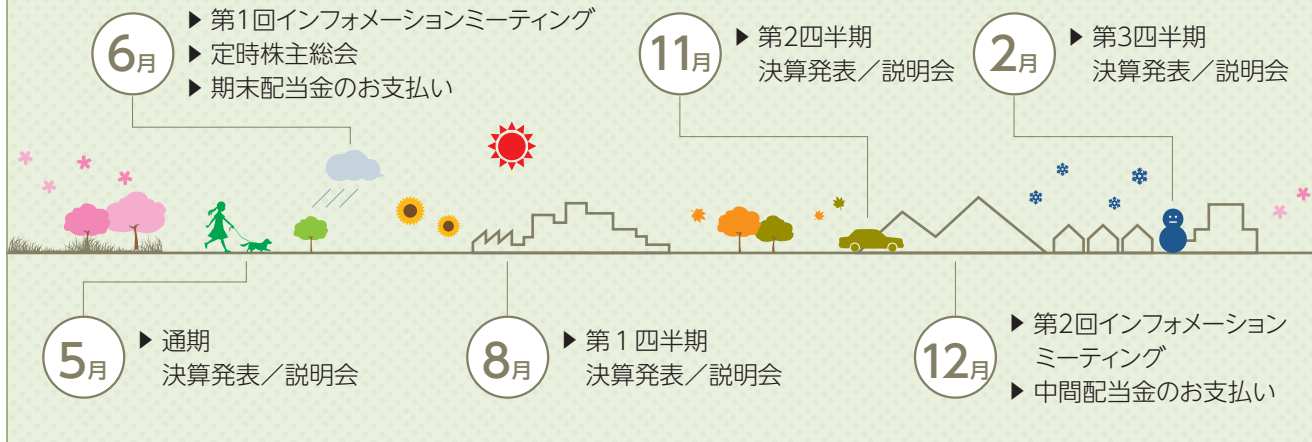
株主さまのご所有の150株のうち、当社が50株を買い取ります。株主さまのご所有の150株に加え、当社が50株を買い増します。  
▶株主さまのご所有の株式は100株となります。▶株主さまのご所有の株式は200株となります。



#### ■特別口座からの振替手続き

特別口座の株式につきましては、単元未満株式の買取・買増のご請求のほかは売買ができませんので、証券会社に開設された口座への振替をお勧めします。

## 年間IRスケジュール(予定)



## WEBサイトのご案内

より見やすくなったWEBサイトを是非ご覧ください。

<http://www.ms-ad-hd.com>

MSAD

検索



最新のIR情報はこちらでご案内しております。

### 最新IRイベント

2012年度第3四半期決算発表 2013年1月4日

決算発表 説明会参加 質疑応答募集

IRポータルサイト(更新)

電話会議「MS&AD-インシュアランスグループにおける環境別再編について」2013年1月10日

### 今後の予定

2013年5月10日(予定) 2013年4月決算説明会

2013年5月20日(予定) 2012年度通期決算発表

立ちどまらない保険。

**MS&AD** MS&AD インシュアランスグループホールディングス株式会社

〒103-0028 東京都中央区八重洲1-3-7 八重洲ファーストフィナンシャルビル

